



2023年8月7日

各位

上場会社名 東邦化学工業株式会社  
代表者 代表取締役社長 中崎 龍雄  
(コード番号 4409)  
問合せ先責任者 取締役経理本部長 川崎 正一  
(TEL 03-5550-3735)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2023年5月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ●業績予想の修正について

2024年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2023年4月1日～2023年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	27,000	700	550	400	18.96
今回修正予想(B)	25,500	240	180	100	4.76
増減額(B-A)	△1,500	△460	△370	△300	—
増減率(%)	△5.6	△65.7	△67.3	△75.0	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2023年3月期第2四半期)	27,516	303	198	135	6.41

2024年3月期通期連結業績予想数値の修正(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	55,500	1,900	1,600	1,150	54.51
今回修正予想(B)	51,500	1,000	800	530	25.20
増減額(B-A)	△4,000	△900	△800	△620	—
増減率(%)	△7.2	△47.4	△50.0	△53.9	—
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	55,361	1,384	1,179	977	46.31

## 修正の理由

### (1) 第1四半期の連結業績について

当期の期初業績予想においては、世界経済の減速による製品需要鈍化の影響が一定期間続くものの、中国経済が早期に持ち直す想定のもと、需要は緩やかに回復に向かうことを見込んでおりました。しかしながら、中国経済の回復の遅れなどにより、製品需要が多く分野で期初想定比低調に推移したことから、売上高は期初予想を下回りました。とりわけ電子情報産業用の微細加工用樹脂は半導体不況の長期化により期初の想定を超えるマイナス影響が表れつつあります。加えて、石油樹脂の原料不足による減産の影響が期初の想定より大きくなったことも売上高下振れの一因となりました。一方、利益面は、電子情報産業用の微細加工用樹脂をはじめとする収益性が高い製品の販売が予想対比下振れしたため、期初予想を下回り、営業損益、経常損益、親会社株主に帰属する四半期純損益はいずれも赤字となりました。

### (2) 第2四半期（累計）及び通期の連結業績予想について

第1四半期の実績及び現在の経営環境を踏まえ、第2四半期以降の業績予想を見直した結果、第2四半期（累計）及び通期の連結業績予想の修正が必要となりました。

第2四半期（累計）及び通期の連結売上高は、製品需要が総じて期初の想定よりも低調に推移しており、回復時期の遅れが見込まれること、特に電子情報産業用の微細加工用樹脂は半導体不況長期化による影響が拡大する見込みであることから、期初予想を大幅に下回る見通しです。

第2四半期（累計）及び通期の利益面は、売上高が期初予想を大幅に下回る見通しであることに加え、原料メーカーから当社の主原料の値上げが打ち出されており、第2四半期以降、原材料費の増加が収益の下押し要因となるため、期初予想を大きく下回る見通しです。

※上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上